

2021 年度

医機連みらい戦略会議シンポジウム

【日 時】 2021 年 4 月 26 日（月） 13 : 00 – 15 : 00

WEB 配信

【テーマ】 「社会課題の解決に貢献する『医療機器』

～コロナ禍から始まる医療機器のトランスフォーメーション～

事前申し込みはこちらからお願いします

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=linj-leoenj-9275daeeb411e5307fba42bf92b0f2f7>



一般社団法人 日本医療機器産業連合会

2021 年度

医機連みらい戦略会議シンポジウム

「社会課題の解決に貢献する『医療機器』

～コロナ禍から始まる医療機器のトランスフォーメーション～

4月26日(月) 13:00-15:00

～ プ ロ グ ラ ム ～

1. はじめに (13:00-13:10)

「社会課題の解決に貢献する『医療機器』 ～コロナ禍から始まる医療機器のトランスフォーメーション～」

医機連副会長 医機連みらい戦略会議 議長

渡部 真也

2. 講演 (13:10-14:35)

【講演Ⅰ】－国としての施策、最先端の取り組み紹介(仮)－

内閣府 健康・医療推進事務局長 八神 敦雄

【講演Ⅱ】－AI への期待、医療機器への期待について－

公益社団法人 日本医師会 副会長 今村 聡

【講演Ⅲ】－コロナ禍における医療現場から医療の継続性について(仮)－

医療法人社団康幸会 かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長 竹田 晋浩

【講演Ⅳ】－コロナ禍における社会貢献（シスメックスの取り組み）－

シスメックス株式会社 上席執行役員 LS ビジネスユニット担当 久保田 守

【講演Ⅴ】－コロナ禍における医療 ICT を活用した国際支援と社会経済活動支援－

株式会社アルム CEO 坂野 哲平

3. ラウンドテーブルディスカッション (14:35-14:55)

ファシリテーター：松尾 未亜 野村総合研究所

パネリスト：八神 敦雄 内閣府 健康・医療推進事務局

今村 聡 公益社団法人 日本医師会

竹田 晋浩 医療法人社団康幸会 かわぐち心臓呼吸器病院

久保田 守 シスメックス株式会社

坂野 哲平 株式会社アルム

4. 閉会挨拶 (14:55-15:00)

(一社) 日本医療機器産業連合会 会長 松本 謙一

2021 年度 医機連みらい戦略会議シンポジウム 開催主旨

2021 年度の医機連みらい戦略会議シンポジウムは、コロナ禍における医療機器の貢献を広く一般社会に知ってもらい、医療機器業界全体のステイタスアップを図ることを目的とし、テーマを『社会課題の解決に貢献する「医療機器」－コロナ禍から始まる医療機器のトランスフォーメーション』と致しました。

新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックにより、我が国の医療現場は深刻な状況に直面するとともに、社会経済も大きな影響を受け、国民の皆さんの意識や生活様式にも大きな変化が生じており、医療機器産業としてもこうした幅広い要因への対応を、更に進めていかなければなりません。

本シンポジウムでは、そのような医療機器業界への期待、実際の医療現場での貢献、そして新たなイノベーションと医療機器産業の社会貢献について、各分野の講師の方にお話しいただき、その後ラウンドテーブルディスカッションを予定しています。

演者紹介

講演Ⅰ 八神 敦雄

内閣府 健康・医療推進事務局長 八神 敦雄



■ご略歴

- 昭 62. 3 東京大学法学部卒業
- 昭 62. 4 厚生省 大臣官房人事課
- 平 24. 9 厚生労働省 年金局事業企画課長
- 平 25. 7 厚生労働省 年金局総務課長
- 平 27.10 厚生労働省 大臣官房参事官（人事担当）
- 平 28. 6 厚生労働省 大臣官房人事課長
- 平 29. 7 厚生労働省 大臣官房審議官（福祉連携、社会、障害保健福祉、児童福祉担当）
- 平 30. 7 厚生労働省 大臣官房審議官（社会、援護、人道調査、福祉連携担当）
- 令 1. 7 厚生労働省 大臣官房審議官（医療介護連携、データヘルス改革担当）
- 令 3.4 現職

■ご講演内容の要旨

日本は平均寿命の延伸により、世界に先駆けて超高齢社会を迎えることが予想されています。また、世界的に医療分野や生命科学分野で研究開発が進むとともに、デジタル技術とデータ利活用が経済社会システム全体に大きな影響を及ぼしつつあります。

昨年 3 月、政府はこのような状況を背景に、2040 年ごろまでを視野に入れ、今後 5 年間の健康・医療分野の研究開発・新規産業創出に向けて第 2 期の「健康・医療戦略」を策定しました。医療機器に関しては、「医療機器・ヘルスケア開発協議会」を設置し、研究開発から実用化までの課題等について検討を進める予定です。今回は、3 月末に開催される第 1 回協議会の内容を概説します。

講演Ⅱ 今村 聡

公益社団法人 日本医師会 副会長



■ご略歴

昭和 52 年 3 月 15 日 秋田大学医学部卒業
昭和52年 6 月 1 日 三井記念病院研修医
昭和54年 4 月 1 日 神奈川県立こども医療センター
昭和58年 4 月 1 日 浜松医科大学助手
昭和62年 4 月 1 日 浜松医科大学講師
昭和63年 1 月 1 日 静岡県立総合病院医長
平成元年 4 月 1 日 浜松医科大学講師
平成 3 年 5 月 1 日 今村医院院長
平成11年 2 月 1 日 聡伸会今村医院理事長

■ご講演内容の要旨

1. コロナ禍における AI・IT 等デジタル技術と医療機器の活用への期待と課題

コロナ禍においては、非対面による AI・IT 等デジタル技術を用いた診療補助や、センシング技術を用いたウェアラブル医療機器の活用が有効であった一方で、今後の課題も明らかになった。

2. 日本医師会が設置した「AI ホスピタル推進センター」

先進的技術である AI やマシンラーニングが急速に進展し、日本の医療現場に実装され始めていることから、今後、質の高い医療技術を医療機関や国民に提供していくためにガバナンス機能を備えた体制の構築が必要であることから、日本医師会に AI ホスピタル推進センターを設置し、AI・IT 技術の活用による医療従事者の負担軽減を目指して産業界と連携し、高度な医療機器を普及していく。

講演Ⅲ 竹田 晋浩

医療法人社団康幸会かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長



■ご略歴

1986 年 日本医科大学 卒業
1992 年 日本医科大学大学院 修了
1996 年 スウェーデン カロリンスカ研究所留学
2001 年 日本医科大学付属病院集中治療室 講師
2006 年 同 准教授
2012 年 日本呼吸療法医学会 副理事長
2014 年 同 外科系集中治療科 教授、徳島大学 救急集中治療医学 客員教授
2015 年 11 月 かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長
2018 年 第 40 回日本呼吸療法医学会学術集会 会長
2020 年 2 月 日本 COVID-19 対策 ECMOnet・代表 日本集中治療医学会 評議員 専門医、
日本救急医学会 専門医、日本呼吸療法医学会 理事
集中治療医学会・呼吸療法医学会 ECMO プロジェクト委員長

■ご講演内容の要旨

コロナウイルス感染症（COVID-19）への治療は重症者では困難を極めた。通常の呼吸不全とは異なる病態を呈し、全容が解明されるまでは時間が必要であり、今でも不確実な部分がある。世界中で数百万人が人工呼吸、ECMO による治療を必要とした。幸い日本では医療機器が不足する事態は起こらなかったが、一部の地域では爆発的に患者が増えた時、コロナ対応病院での呼吸器がゼロになる事態もあった。

2009 年の新型インフルエンザのあとに、人工呼吸器の備蓄なども検討されたが実行されず、また病床確保も不確実であり、本邦での有事の際の医療体制は非常に貧弱なものであることが露呈された。医療を実行する能力は高度であるが、それを行うための体制ができておらず、各病院や各医療従事者個人に依存している部分が多い。

今回の COVID-19 を機会に、有事における医療体制の整備が必要である。

講演Ⅳ 久保田 守

シスメックス株式会社 上席執行役員 事業戦略副担当



■ご略歴

1981 年 3 月 京都大学農学部卒業
2006 年 11 月 シスメックス株式会社 入社 ライフサイエンス事業戦略室 LS マーケティンググループ 部長
2010 年 4 月 ライフサイエンス事業戦略室 本部長
2015 年 4 月 執行役員 ライフサイエンスマーケティング本部 本部長
2017 年 4 月 執行役員 LS 事業本部 本部長
2018 年 4 月 執行役員 LS ビジネスユニット副担当
2019 年 4 月 上席執行役員 LS ビジネスユニット担当

■ご講演内容の要旨

新型コロナウイルス感染症（Covid-19）に対する各種検査に関して、シスメックス（株）の取組みをご紹介します。PCR 検査に関しては、関連試薬を国内で最初に薬事承認を取得し、付属品と共に臨床現場に提供しています。また、神戸にある当社ラボにて高品質な検査体制を確立し、これまで 15,000 検体以上の PCR 検査を受託致しました。更に、ロボットシステムを使って PCR 検査フロー全体を自動化し、空港や病院、イベント会場にて集中的に検査可能なシステムを川崎重工（株）様と共同で確立しています。一方、Covid-19 の抗原や抗体に対する検査として、当社独自の免疫反応検査装置にて測定可能な試薬開発に取り組んで参りました。同時にインフルエンザウイルス A/B 抗原を検査可能な試薬開発、また感染後の重症化予測マーカーに対する試薬開発も進め、Covid-19 感染の各種フェーズに対応できる包括的な検査を提供しています。今後、ワクチン接種の拡がりや各種変異型ウイルスの出現に対しても適切な検査を提供することで社会貢献を果たして参ります。

講演Ⅴ 坂野 哲平

株式会社アルム CEO



■ご略歴

株式会社アルム、創設者及び CEO。日本医療ベンチャー協会理事。2001 年早稲田大学理工学部卒業と同時に起業し、動画配信プラットフォーム事業に従事。2015 年に動画配信事業の売却を機に医療 ICT 事業への本格参入。医療機器ソフトウェアの開発から販売までを手がけ、世界 22 カ国で展開している。同社の医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」は、日本初の保険適用ソフトウェアとなった。

■ご講演内容の要旨

医療業界参入 6 年半での医療機器プログラム開発～薬事承認～保険適応～グローバル展開までを経験しました。東北大学特任教授や日本医療ベンチャー協会の理事を兼任。新型コロナウイルス到来により、医療 ICT 市場の変化とベンチャー企業の役割とビジネスチャンスについて、並びにベンチャー企業と大手企業とのコラボレーションの在り方や可能性についてお話しさせていただきます。